

■11月19日(日)ワークショップ・受賞／入賞作品上映

H:放送局部門、C:ケーブルテレビ部門、S:市民・学生・自治体部門、K:高校生(中学生)部門

時刻	会場A 100周年記念会館 ホールB	会場B 100周年記念会館 第1特別会議室	会場C 100周年記念会館 第1会議室
10:00 S 11:00		ワークショップ① [10:00~12:30] 「学生・高校生 映像ワークショップ ～見る目 作る目 私の目～」	
	10:30～ グランプリ作品上映	H 今年の映像祭にも83にのぼる高校生(中学生)・大学生の映像作品が寄せられました。いずれも課題にまっすぐに向き合い、若い感性にあふれた作品です。本ワークショップ「見る目・作る目・私の目」では、学生や高校生の参加者が、同じ世代の皆さんと多様な意見を出し合いながら作品を構想します。	10:30～ 出稼ぎの時代から 白鷹町出稼ぎの記録映画制作委員会 <60分>
11:00 S 12:00		H 「見る目」は物事の見方や視点を、「作る目」は伝える手法を、そして「私の目」が「私たちの目」や「あなたの目」となるような共感を生み出す映像について楽しく考えていきます。	
	11:30～ 袴田事件 57年～此の国の司法を問う～ 静岡放送 <55分>	H ■コーディネーター 境 真理子(メディア研究者) ■アドバイザー 藤田 貴久(朝日放送テレビ) 堀川 雅子(読賣テレビ放送)	11:40～ 海渡り 仲信達也 <16分>
12:00 S 13:00		C 12:30～ 里山の宝石 オオムラサキとともに 日本ネットワークサービス <25分>	12:30～ 技能実習生はベトナムのお母さん 広島学院高等学校 <17分>
			12:50～ 川の図書館 本が編む物語 上智大学 水島ゼミ <17分>
13:00 S 14:00		H 13:00～ チャンネル4 遺された戦争ポスター テレビ信州 <49分>	13:10～ 「ななみの家」の挑戦 ～満足死のための看護～ 相山女学園大学 榎窪ゼミ <27分>
	ワークショップ② [13:30~15:30] 「“生成AI”でテレビが変わる？」		13:40～ 自分ごと 松本深志高等学校 <11分>
	AIなかでも“生成AI”に人々の熱い視線が注がれています。テレビの世界でも、すでに活用へのチャレンジを始めた、実際に運用している事例も見られるようになりました。ワークショップでは、いくつかの活用事例や取り組みの報告から、今後の可能性や課題を議論。未来を考えます。	C 13:50～ 続・丸裸温泉街 ーコロナ禍1000日の葛藤ー キャッチネットワーク <59分>	13:50～ 命の中継地 福井県立藤島高等学校 <5分>
14:00 S 15:00	■司会 音 好宏(上智大学新聞学科教授) ■パネリスト 服部 洋之(映像メディアプロデューサー) 荒木 拓人(朝日放送テレビ/NTT Sportic) 秋元 優志(読賣テレビ 制作局ディレクター) 工藤 祐馬(中京テレビ)		14:00～ その声に耳を傾けて 上智大学 水島ゼミD班 <18分>
			14:30～ 私たちの答え ～中国人留学生の学歴と社会～ 関西大学 齊藤ゼミ <27分>
15:00 S 16:00		C 15:00～ 「物」の聲を聴け ～65年、ただひたすら集めて～ 秋田ケーブルテレビ <60分>	15:00～ 今を生きる 相山女学園高等学校放送部 <8分>
			15:10～ 時間をかけて、少しずつ 桜丘高等学校(三重県) <20分>
			15:30～ 南西諸島の空から～ある特攻隊員の日記～ 中央大学FLPジャーナリズムプログラム 松野良一ゼミ <41分>
16:00 S 17:00	16:00～ 国民と国家 ある日 戦争が始まったらー 中京テレビ <49分>	H 16:15～ こころの時代～宗教・人生～「オモニの島 わたしの故郷 ～映画監督・ヤンヨンヒ～」 NHK大阪放送局、NHKエンタープライズ近畿 <60分>	16:20～ よみがえる商店街 東京工芸大学芸術学部映像学科 <33分>
17:00 S 18:00	17:00～ 豊穡の海 ～ゴミ浜とゴミバカ 南海放送 <48分>	H 17:20～ ふるさと越波 ～灯火を守る住人の記録～ CCNet <30分>	17:05～ 51年ぶりの生徒会長 宮城県仙台第三高等学校 <10分>
			17:15～ 84歳のビデオグラファー 静岡大成高等学校放送部 <11分>
			17:30～ 排除と分断の校則 加古川市立陵南中学校放送部<9分>

※各作品の上映開始時刻は目安としてご参照ください。作品の入替え作業の為、若干変動することがあります。